

決算の概要

平成30年度 山武郡市広域水道企業団水道事業会計決算の概要

平成30年度は、「中長期経営プラン2016」（平成28～37年度）の基本理念である次世代へつなぐ強靱で安心な水道を実現するため、計画に掲げる事業を着実に推進しながら、安全で安心な水道水の安定供給に努めてまいりました。

主要な建設改良事業については、基幹管路及び重要給水施設配水管の耐震化などの配水管改良工事並びに移設工事を行い、10億2,074万円支出し、延べ7,833.7mの配水管を整備したほか、東金配水場遠方監視制御設備更新工事及び大網配水場電気設備更新工事を行い、2億272万円支出しました。

○業務量（平成31年3月31日現在）

事 項	単位	平成30年度 (a)	平成29年度 (b)	比較 (a-b)
給水区域内人口	人	168,300	170,238	△ 1,938
給水人口	人	156,899	158,616	△ 1,717
給水戸数	戸	64,889	64,558	331
年間総給水量	m ³	18,181,960	18,239,399	△ 57,439
有収水量	m ³	16,378,167	16,520,106	△ 141,939
有収率	%	90.1	90.6	△ 0.5
一日平均給水量	m ³	49,814	49,971	△ 157
一日最大給水量	m ³	7/23 56,450	7/3 56,630	△ 180

○収益的収支

水道水をご家庭までお届けするための経営活動に伴い発生したすべての収入及び支出です。

（単位：千円、税抜き）

科 目		平成30年度 (a)	平成29年度 (b)	比較 (a-b)
収 入	営業収益	3,824,473	3,848,105	△ 23,632
	営業外収益	1,187,757	1,220,206	△ 32,449
	合 計	5,012,230	5,068,311	△ 56,081
支 出	営業費用	4,471,584	4,702,989	△ 231,405
	営業外費用	62,250	54,119	8,131
	特別損失	577	1,245	△ 668
	合 計	4,534,411	4,758,353	△ 223,942
収支差引		477,819	309,958	167,861

○資本的収入及び支出

水道施設を建設・改良するために要した収入及び支出です。

(単位：千円、税込み)

科 目		平成30年度 (a)	平成29年度 (b)	比較 (a-b)
収 入	国庫補助金	154,920	101,641	53,279
	工事負担金	48,550	25,485	23,065
	合 計	203,470	127,126	76,344
支 出	建設改良費	1,375,239	1,070,977	304,262
	企業債償還金	80,033	78,716	1,317
	合 計	1,455,272	1,149,693	305,579
収支差引		△ 1,251,802	△ 1,022,567	△ 229,235

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

○貸借対照表

財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。

(単位：千円、税込み)

科 目	平成30年度末残高 (a)	平成29年度末残高 (b)	比較 (a-b)
資産合計	31,132,231	30,354,835	777,396
固定資産	25,000,295	24,350,159	650,136
流動資産	6,131,936	6,004,676	127,260
負債資本合計	31,132,231	30,354,835	777,396
負債合計	9,600,870	9,301,293	299,577
固定負債	1,137,727	1,199,521	△ 61,794
流動負債	579,259	529,128	50,131
繰延収益	7,883,884	7,572,644	311,240
資本合計	21,531,361	21,053,542	477,819
資本金	10,423,758	10,113,800	309,958
剰余金	11,107,603	10,939,742	167,861

○企業債の残高

(単位：千円、税抜き)

科 目	平成30年度末残高 (a)	平成29年度末残高 (b)	比較 (a-b)
企業債	1,014,998	1,095,030	△ 80,032
財政融資資金	753,540	815,353	△ 61,813
地方公共団体金融機構	261,458	279,677	△ 18,219

平成30年度の給水原価と供給単価

■ 給水原価

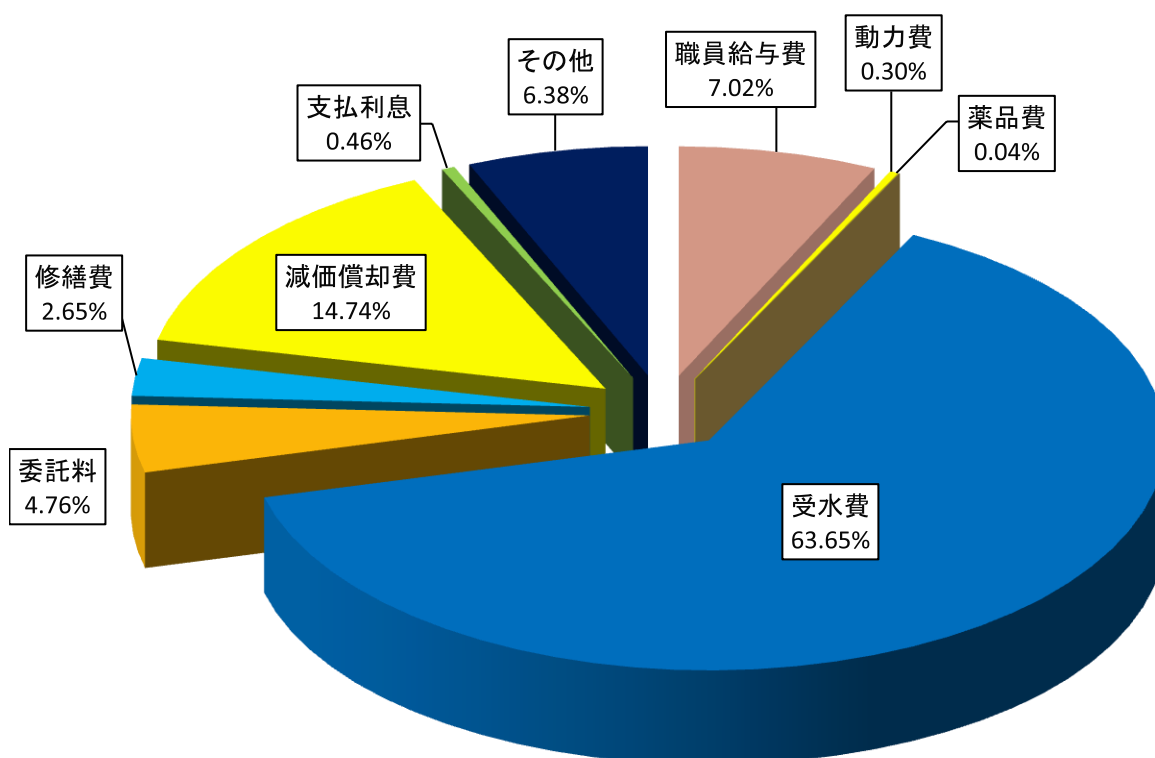
給水原価とは、水道水1立方メートルを家庭までお届けするために要した費用です。

(単位：円、税抜き)

項目	金額	30年度 給水原価 (a)	29年度 給水原価 (b)	比較 (a-b)
職員給与費	294,748,173	18.00	20.16	△ 2.16
動力費	12,520,913	0.77	0.74	0.03
薬品費	1,708,900	0.10	0.09	0.01
受水費	2,672,116,961	163.15	174.25	△ 11.10
委託料	200,019,334	12.21	13.60	△ 1.39
修繕費	111,278,920	6.79	6.83	△ 0.04
減価償却費	618,755,473	37.78	37.50	0.28
支払利息	19,324,516	1.18	1.25	△ 0.07
その他	267,566,270	16.34	13.53	2.81
合計	4,198,039,460	256.32	267.95	△ 11.63

有収水量	16,378,167 m ³	(料金収入の対象となった水量)
------	---------------------------	-----------------

平成30年度 費用構成



■ 供給単価

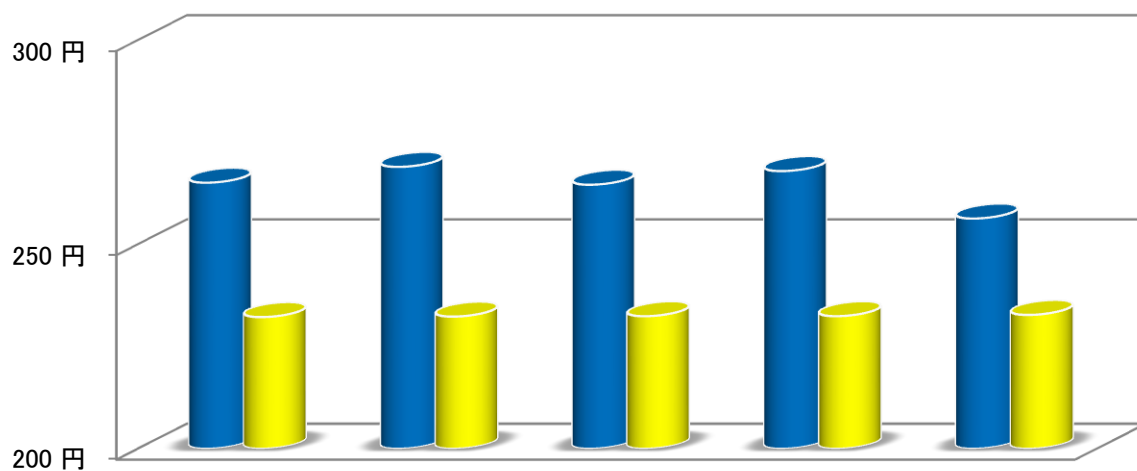
供給単価とは、水道水1立方メートル当たりの料金収入です。

(単位：円、税抜き)

項目	金額	30年度 供給単価 (a)	29年度 供給単価 (b)	比較 (a-b)
給水収益	3,811,307,650	232.71	232.40	0.31

給水原価と供給単価の推移

■ 給水原価 ■ 供給単価



区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
給水原価	265.10 円	268.97 円	264.60 円	267.95 円	256.32 円
供給単価	232.18 円	232.30 円	232.39 円	232.40 円	232.71 円